

## 「2023年韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学経済学部1年 金元 佳怜

今回、このスプリングスクールに応募した当初は韓国語への興味はそこそこあったものの、K-POPなどのサブカルチャーが好きな人に比べると自主的に勉強することはほとんどなく、ただ第二外国語として学び、テストのためだけに勉強していた。しかし、延世大学語学堂の授業は1日4時間、すべて韓国語で行われるため、何とかして聞き取らなければならない、自分の意見を伝えなければならないという状況になると自分でもわかるくらいみるみる韓国語力高まった。

また、留学する前までは私はただの大学生で、私は自分の専攻に集中し、日々の学習に追われ、国際理解について深く考える機会はありませんでした。しかし、留学を経験した後、私の視野は大きく広がったように感じる。韓国での生活は、私にとって新鮮で刺激的な経験で、韓国人と接する機会は多くはありませんでしたが、同じ語学堂で韓国語を学ぶ中国人やアメリカ人、イギリス人など、異なる文化背景を持つ人々と交流し、様々な異なる文化を教わったり、日本の文化を教えたりした。また、現地の大学の講義を聴講したことで、日本の大学の授業しか知らなかった私にとっては新鮮な経験だった。私が感じた一番の相違点は、日本の大学よりも双方向の授業であるという点である。私が受けている京都大学の授業は大人数が大講義室で受講しているため、高等学校までの授業のように一方通行の授業となってしまうと感じた。延世大学の授業を受けると一層、そういった意識が強まった。今後は、京都大学の授業の中でも、基本的なことを1・2回生の間に学習し、3・4回生に上がると、積極的に少人数のゼミなどに参加し自分の意見を発表することにも慣れたいと思った。

今回このスプリングスクールに参加して、留学に対するハードルがかなり下がった。今までは何となく英語圏に何となく留学に行った方がいいのかなといった気持ちはあったが、具体的に行動を起こすことはなかった。しかし、このスプリングスクールで短期間ではあるものの、留学に行ってみて、語学の成長スピードが、同じ時間日本で独学や授業を受けるのとは比べ物にならないくらい早かった。それを考慮すると、留学に行くことのコストパフォーマンスは高いと感じた。今後も積極的に韓国や英語圏への留学に行こうと決意するきっかけとなった。

まだ、具体的に進路が決まっているわけではないが、せっかく今回のスプリングスクールで韓国語が上達したのだから、これからも勉強を継続して何か将来に活かしたいという思いは芽生えた。趣味として楽しく韓国語を学習することも大事にしながら、TOPIKなど韓国語の試験を受けて自分の実力を試すこともしながら学習を続けていきたい。将来的にはTOPIK6級に合格して、ソウル大学への留学資格を得たいと考えている。資格を取れば、将来の就職活動でも有利に働くので、自分のアドバンテージにしていきたい。

연세대학교 한국어학당 선생님들은 모두 친절했습니다.

The classes at Yonsei UIC were very interesting. In particular, Professor KAHM's special lecture was very easy to understand and sometimes interspersed with jokes, which made the class content easy to grasp.

He taught us about the history of East Asia, focusing on the relationship between Japan and Korea, and what impressed me the most was that he said that history is about "arguments".

He said, "All historical facts started out as arguments.

If 99% of people believe these arguments, they become facts.

That was the general outline of the class.

We also learned from the Foreign Ministry's YouTube video about Takeshima (Dokdo) that history becomes fact when many people believe it. I felt that we Japanese may have been taught a false history as well.

Unfortunately, I was not able to complete the course due to a conflict with another course I was auditing, but I am still grateful for a course I found interesting. The special topics in fiction class was designed for students studying abroad at Yonsei University, so the English was high level and it was very difficult to participate in group discussions, which made me realize how poor my English skills were. However, the students around me kindly taught me about the class and helped me to understand the class a little better.